

六華の心

酒田市立第六中学校
学校だより 第5号
校長 加藤 浩昭
令和4年5月26日

「自分たちの手で学校生活を創ろう！」

～前期生徒総会より～

19日(木)、前期生徒総会が開かれました。今回の総会も諸般の事情でオンライン開催となりました。

右上は総会資料の表紙(次第)です。生徒会スローガンの審議に始まり、専門委員会の年間活動、予算案等、いわゆる定例の内容に加え、六中独自の「**スマホネット利用の約束**」についての話し合い、そして今回は「**校則、制服の見直し**」に関する学級討論も行われました。討論に先立って、執行部からは「**六中イノベーション**」と題する、基本的な考え方に関するプレゼンテーションも行われました。

話し合いの内容も素晴らしかったのですが、このような機会を重ねる度に驚かされるのは、子どもたちの対応力です。各自のタブレットに取り込んだ総会資料を用い、各教室のTV画面で提案者、発言者の映像を見ながらの総会。通信環境を考え、会議室からの提案、個人・学級の意見を述べる人は1階ホール、司会進行は放送室からとこれまでの取り組みを生かして、見事に棲み分けをしながら、双方向性の型式で約2時間の総会を見事に運営することができました。

話し合いの結果、今年度の生徒会スローガンは「**協和～個性輝く学校へ～**」に決定しました。スローガンに込められた願い(設定理由)、実現に向けた具体的な取り組みは右下の通りです。特に協和の意味の2つめ、「**同時に鳴らした2つ以上の音が調和して響くこと**」には共感しました。379名の全校生徒それぞれが持っている音は違うのでしょう。高い音もあれば低い音もあり、ちょっと調子が外れた音もあるかもしれません。でもその全ての音が調和したとき、379人が奏でる素敵なハーモニーが完成するのだと思います。

今後、執行部や各専門委員会、各学年生徒会で具体的な取り組みが始まります。「自分たちの学校は自分たちで創る!」。「379人のハーモニーを奏でる」。生き生きとした生徒会活動が展開される期待感でいっぱいです。

生徒総会
～前期～ 期日:令和4年5月18日(水)

- 開会の言葉
- 生徒会長挨拶
- 総会での注意事項
- 協議
 - ①第1号議案
今年度の生徒会スローガンについて
 - ②第2号議案
令和4年度各専門委員会の年間活動計画
 - ③第3号議案
全校討議「校則を変えることができる学校とは」
「六中スマホネット利用の約束について」
 - ④第4号議案
令和4年度生徒会会計予算案
 - ⑤その他「六中の制服について」
- 校長先生のお話
- 閉会の言葉

生徒会の理念
生徒会活動を通じて社会性を高め、六華の心に宿れる期待をつくり、地域社会に貢献する

生徒会のビジョン
生徒全員が授業や部活動、学校行事、地域貢献活動などに生き生きと取り組み、六中が活躍することで地域の方々に元氣と感動を届ける。

酒田市立第六中学校
令和4年度
生徒会スローガン **協和～個性輝く学校へ～**

○設定理由○
「協和」とは、心をおわせて仲良くすること。「同時に鳴らした2つ以上の音が調和して響くこと」という意味があります。私たちは、男女が平等に個性が輝く学校を目指しています。「男子だから、女子だから」ではなく、1人1人がみんなの個性を認め合い、偏見をなくし、みんながよりよい六中をつくりあげていこう、という思いが込められています。今私たち六中生があり、この六中の伝統が続いているのは、今までの先輩方が伝統を引き継ぎ、築いてくれたからです。今までの六中の伝統とこれから私たち創りあげていく伝統を協和させ、今までにないよりよい六中をつくっていきます。みなさん、ご協力をお願いします。

○スローガン実現のために○

- SDGsの理解を深め、SDGsに関わる活動をする。
- 校則の改善を行う。
- スラックスの導入
- 交通安全運動(あいさつ運動)やボランティア活動を通して、地域を活性化させる。
- 生徒会掲示板「六中情報局」を積極的に活用し、各種キャンペーンを全校で実施する。

六中イノベーション
誰一人取り残さない六中を目指して

六中イノベーションの心構え

- みんなで考えた校則やルールをしっかりと守ろう。
- 相手のことを考えた発言態度を心がけよう。
- 相手をあらゆる事(性別や見た目、個性など)で差別せず、認め合える六中生になろう。
- 六中仲間の約束をしっかりと守ろう。

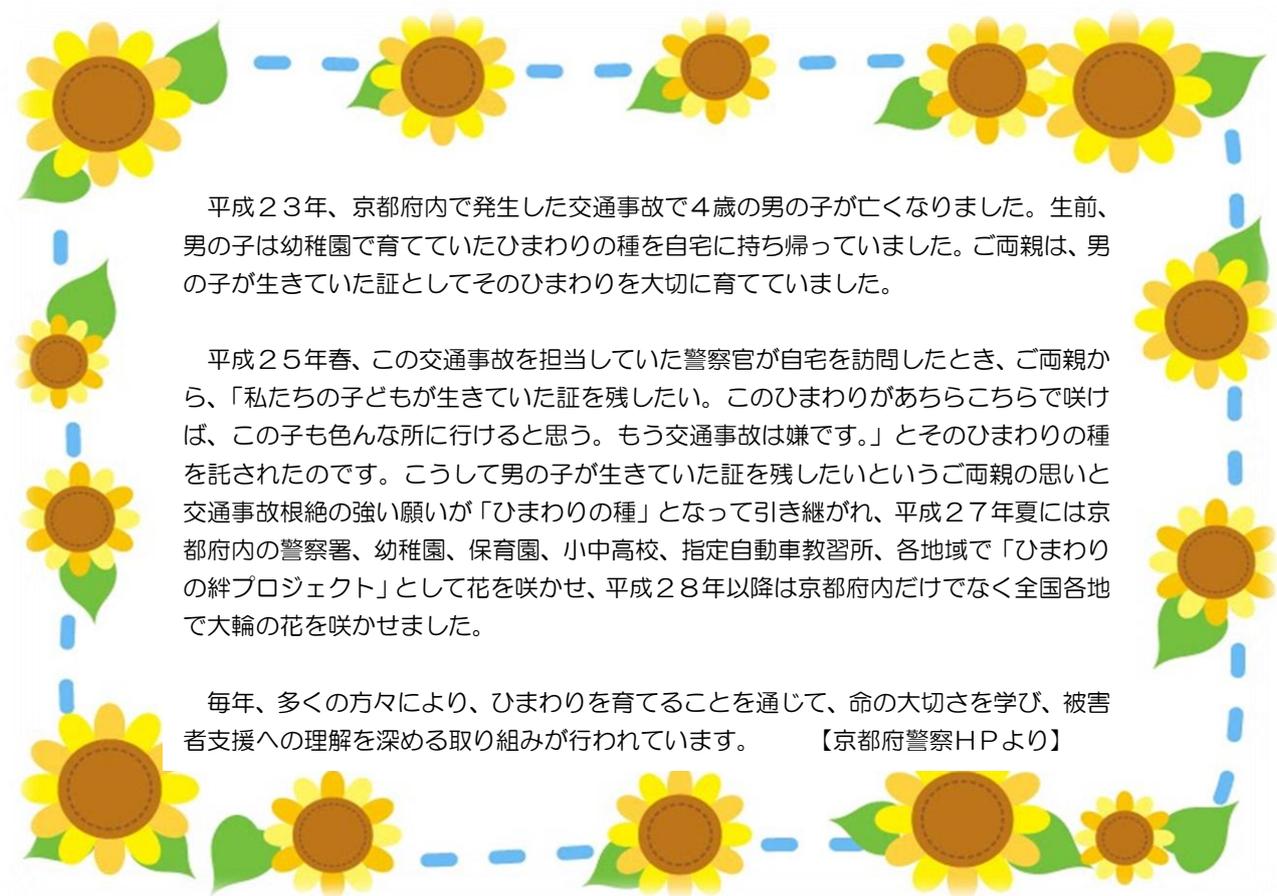
六中仲間の約束
①相手の嫌がることをしない。(悪口・暴力・仲間外れ)
②相手の良いところを見つけ、認め合う。(多くの人と交流し、絆を深める)
③何事にも自ら行動し、全力で取り組む。(誰かのために積極的に動く)

(自分と同じ相手はいない。だからこそ話し合って、互いに意見や思いを共有していける。誰一人取り残さない酒田六中)

「スローガン実現のために」の1に関わって、6月3日(金)の生徒集会で、先進的な実践事例をお持ちになっている泉小学校の齋藤太校長先生にお話をお伺いします。(裏へ)

満開のひまわりを咲かそう！

生徒総会に先立ち、熊坂署長さんをはじめ酒田警察署の所員の方がお見えになり、「ひまわりの絆プロジェクト」の種の贈呈式が行われました。酒田警察署が六中学区にあるということから、生徒会が酒田警察署とタイアップした交通安全運動を展開してきたということから、酒田市内では初めて同プロジェクトへの協力依頼を受け、お受けすることとなりました。同プロジェクトの趣旨は下記の通りです。これから種をまき、ひまわりを育てていきます。六中生の、思いやりの心、感謝の心、奉仕の心から栄養を受けた大輪のひまわりが、真夏の太陽を浴びながら咲きそろうのが楽しみです。



平成23年、京都府内で発生した交通事故で4歳の男の子が亡くなりました。生前、男の子は幼稚園で育てていたひまわりの種を自宅に持ち帰っていました。ご両親は、男の子が生きていた証としてそのひまわりを大切に育てていました。

平成25年春、この交通事故を担当していた警察官が自宅を訪問したとき、ご両親から、「私たちの子どもが生きていた証を残したい。このひまわりがあちらこちらで咲けば、この子も色々な所に行けると思う。もう交通事故は嫌です。」とそのひまわりの種を託されたのです。こうして男の子が生きていた証を残したいというご両親の思いと交通事故根絶の強い願いが「ひまわりの種」となって引き継がれ、平成27年夏には京都府内の警察署、幼稚園、保育園、小中高校、指定自動車教習所、各地域で「ひまわりの絆プロジェクト」として花を咲かせ、平成28年以降は京都府内だけでなく全国各地で大輪の花を咲かせました。

毎年、多くの方々により、ひまわりを育てることを通じて、命の大切さを学び、被害者支援への理解を深める取り組みが行われています。【京都府警察HPより】



地区総体の前哨戦！

～各部の頑張り その2

〈酒田市体育大会〉

- 男子バスケットボール部 第2位 (兼 酒田飽海地区中学校選手権・庄司杯)
- サッカー部 第2位
- 女子ソフトテニス部 (団体) 六中A：第2位 六中B：第3位
- 陸上 女子総合：第2位
 - 女子400mリレー 1位 女子低学年400mリレー 3位
 - 女子走り幅跳 第2位 (相良來瞳さん) 第3位 (阿部真桜さん)
 - 男子110mH 第2位 (高橋宏太さん) 第3位 (大原知樹さん)
 - 女子砲丸投げ 第3位 (後藤 心さん)
 - 女子100m 第3位 (相良來瞳さん)
 - 女子100mH 第3位 (池田妃那さん)
- 柔道 女子個人無差別級：第1位 (河井良汎さん) 男子個人無差別級：第2位 (木村遙さん)

明日から第2節。テーマは「挑戦」です。今日は節集会がありました。次号で様子を紹介します。

